



## 教職員の「子どもたちと向き合う時間」を確保するために

長岡京市教育委員会

平素より、本市の教育行政及び学校の教育活動にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、子どもたちに効果的な教育活動を行うためには、教職員が健康で生き生きと働くことが大切です。

文部科学省において、「教師を取り巻く環境整備について緊急的に取り組むべき施策（提言）」（令和5年8月28日）がとりまとめられ、文部科学大臣からの強いメッセージ※1とともに、教育委員会・学校における、教職員の働き方改革の取組を一層推進することが求められました。

加えて、教職員の長時間勤務や休日出勤のイメージが、教員志望者の減少につながっているとの報道もされており、本市においてもその影響は小さくありません。教職員が、子どもたちと向き合うための時間や、授業の質を高めるための授業準備の時間を十分に確保できるよう、学校の役割や教職員の働き方を見直し、長時間勤務等を早急に改善することが必要です。

そのような中、学校では、地域人材の活用やデジタル化による業務改善、学校行事の見直し等による働き方改革を進め、教職員の時間外勤務は改善傾向にありますが、依然として長時間勤務※2の教職員は少なくありません。※2:教職員の勤務時間は、平日（月～金）の午前8時30分～午後5時です。

長岡京市教育委員会としましては、学校の働き方改革に向けて、一層の支援を進めてまいります。

保護者・地域の皆様におかれましては、何卒、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



※1:文部科学大臣メッセージ

[https://www.mext.go.jp/content/20230829-mxt\\_zaimu-100002242\\_4.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20230829-mxt_zaimu-100002242_4.pdf)

### 子どもたちにより良い教育を実現します！

- ◆ 教職生涯を通じて学び続ける教職員に → 資質の向上 → 魅力的な教職員に！
- ◆ 子どもたちと向き合う時間の確保 → 子どもたち一人一人にきめ細かな指導・支援の充実！
- ◆ 子どもたちが、「包み込まれているという感覚」を持ち、明日も学びに来たくなる学校に！

### 働き方改革の取組例

これらの取組は何のため？

- ◆ 学校行事の精選・地域行事の参加など
  - ・学校行事をコロナ禍以前と同様に実施することを望む声もありますが、行事のねらいや子どもたちの状況を踏まえ、廃止や統合、規模の縮小や時間の短縮など、工夫をして実施しています。
  - ・お祭りなど地域の行事も再開されていますが、休日の場合など、教員が参加できないこともあります。
- ◆ 平日の電話対応や学校業務休止日の設定
  - ・市内の小・中学校では、自動応答メッセージシステムを導入しており、小学校は、午後6時から午前8時まで、中学校は、午後7時から午前7時45分までの時間や、休日、学校業務休止日については、電話がつながりません。その場合は、翌日以降にご連絡をお願いします。なお、緊急対応を要する場合は、市役所・警察・消防などの専門機関へご連絡をお願いします。
- ◆ 地域等における外部人材の活用や学校業務のデジタル化など
  - ・登下校時や放課後の安全確保等については、引き続き保護者や地域の皆様のご協力をお願いします。
  - ・学習指導や部活動支援、資料作成や授業準備など、教職員の業務をサポートするため、学校業務支援員やボランティアなどの人材にご支援いただいています。
  - ・学校からの配付文書のペーパーレス化や欠席連絡のWebアンケート化等の取組をすすめています。

保護者・地域の皆様のご理解とご協力をお願いいたします！